

ヒト由来のプロテインキナーゼCβIアイソザイム、再組換え

Cat. No. NATE-0621

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 プロテインキナーゼC (PKC) は、セリン/スレオニンキナーゼであり、さまざまな活性化されたホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸 (PIP2) およびホスファチジルコリン (PC) からDAGを生成するシグナル伝達経路によって細胞内で活性化されます。フォールポールエステルもPKCを刺激します。少なくとも11種類のPKCアイソザイムが同定されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの応答、および基質特異性において異なります。アイソザイムは3つのサブファミリーに分類できます。最初のファミリーのメンバーはCa²⁺およびホスホリピッドを必要とし、PKCα、βI、βII、およびγが含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリピッド依存ですがCa²⁺非依存であり、PKCδ、ε、η、およびθが含まれます。第三のファミリーのメンバーはDAGまたはフォールポールエステルによって活性化されず、PKCξ、μ、およびιが含まれます。

別名 PRKCB; PKCB; PRKCB1; PRKCB2; プロテインキナーゼC、ベータ1; プロテインキナーゼCベータ型; PKCベータ; EC 2.7.1.37

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染した昆虫細胞
形態	緩衝された水性グリセロール溶液; 20 mM HEPES、pH 7.4の溶液; 2 mM EDTA、2 mM EGTA、5 mM DTT、100 mM NaCl、0.05% Triton X-100、および50%グリセロール。
EC番号	EC 2.7.1.37
分子量	apparent mol wt 79-80 kDa
純度	> 95% (SDS-PAGE)
代謝経路	B細胞におけるNF-kappaBの活性化、特定の生物系; 適応免疫系、特定の生物系; アフリカトリパノソーマ症、特定の生物系; アフリカトリパノソーマ症、保存された生物系; アルドステロン調節ナトリウム再吸収、特定の生物系; アルドステロン調節ナトリウム再吸収、保存された生物系; アメーバ症、特定の生物系
機能	ATP結合; アンドロゲン受容体結合; クロマチン結合; ヒストン結合; ヒストンキナーゼ活性 (H3-T6特異的); リガンド依存性核受容体転写共活性化因子活性; 金属イオン結合; ヌクレオチド結合; タンパク質結合; プロテインキナーゼC活性; プロテインキナーゼC結合; 亜鉛イオン結合
単位定義	1ユニットは、pH 7.4、30°Cで1分間にヒストンH1に1 nmolのリン酸を転送します。

保管・発送情報

保存方法 -70°C